

2014年第7問

 数理
石井K

7 $0 < t < \frac{\pi}{2}$ とする. 座標平面上に, 原点 O を中心とする単位円 C 上の点 $P(\cos t, \sin t)$ と, x 軸上の点 $Q(\cos t, 0)$ をとり, 点 P における C の接線を l とする. また, 点 Q から l に下ろした垂線と l との交点を R とする. このとき, 以下の問いに答えよ.

- (1) 接線 l の方程式を求めよ.
 (2) PR と QR を t を用いて表せ.
 (3) (2) で求めた PR を $x(t)$, QR を $y(t)$ とする. 点 $S(x(t), y(t))$ の軌跡を求めよ.

(1) $C: x^2 + y^2 = 1$ より.

$$l: x \cdot \cos t + y \cdot \sin t = 1$$

(2) $OP \parallel QR$ より. PR は点 Q と直線 OP とのキョリに等しい

$OP: y = \tan t \cdot x$ より. 点と直線のキョリ公式を用いて

$$PR = \frac{|\tan t \cdot \cos t|}{\sqrt{\tan^2 t + 1}} = \cos t \cdot |\sin t| = \sin t \cos t$$

$\triangle PQR$ において, 三平方の定理より, $QR^2 + PR^2 = PQ^2$

$$\begin{aligned} \therefore QR^2 &= \sin^2 t - \sin^2 t \cos^2 t \\ &= \sin^2 t (1 - \cos^2 t) \\ &= \sin^4 t \end{aligned}$$

$$\therefore QR = \sin^2 t$$

(3) (2) より S の座標を (X, Y) とおくと, $X = \sin t \cos t$, $Y = \sin^2 t$

$$\therefore 2X = \sin 2t, \quad Y = \frac{1 - \cos 2t}{2} \quad \therefore \cos 2t = 1 - 2Y$$

これらを $\sin^2 2t + \cos^2 2t = 1$ に代入して.

$$4X^2 + (1 - 2Y)^2 = 1 \quad \therefore X^2 + (Y - \frac{1}{2})^2 = \frac{1}{4}$$

ここで, $0 < 2t < \pi$ より. $0 < \sin 2t \leq 1 \quad \therefore 0 < X \leq \frac{1}{2}$, また, $0 < Y < 1$

\therefore 求める軌跡は円の一部 $x^2 + (y - \frac{1}{2})^2 = \frac{1}{4}$

ただし, $0 < x \leq \frac{1}{2}$ の部分

